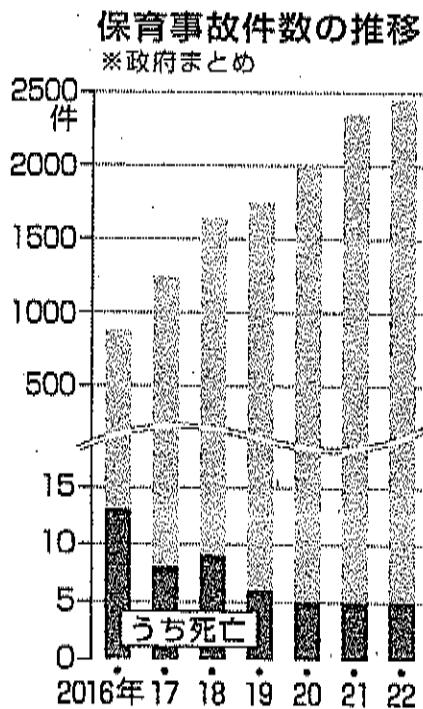


# 保育事故 最多2461件



22年調査

しかも家庭厅は、一曰、二〇二二年に全国の保育所や幼稚園、認定こども园で、子どもがけがなどをすると事故が前年から百十四件増え三千四百六十一件あつたと発表した。過去最多だつ

た。うち五件は死亡した事案で、通園バスでの置き去りや睡眠中、食事中などに発生した。

事故が増加した背景には、保育現場の人手不足があるとされる。政府は「次元の異なる少子化対策」で元の異なる少子化対策」で、保育士の配置を手厚くする

## 背景に現場の人手不足

方針を決定しており、保育の質を向上して防止に取り組む構え。

五件の死亡事故は、認可外保育施設で二件、こども園、認可保育所、企業主導型保育施設で各一件起きた。発生時の状況は睡眠中が二件、食事中が一件、二年九月に発生した静岡県牧之原市の通園バスでの置き去りが一件、その他が一件。年齢別では〇歳が二件、一歳、三歳、五歳が各一件だった。

死亡を除ぐ三千四百五十六件の内訳を見ると、骨折が千八百九十七件で約八割を占めた。意識不明のケガスは十九件、やけどは六件あった。